



室内で起こる事故

～子どもの目線で考える～

川崎市病児保育施設

エンゼル川崎

エンゼル中原

エンゼル宮前

エンゼル麻生

梅雨が明けると、いよいよ夏本番です。今年の5月から、新型コロナウイルス感染症が5類となりました。子ども達も楽しい行事・イベントが多くなるのではないのでしょうか。そのなかで、屋内屋外で予期せぬ子どもの事故は発生します。月齢によって、主に起こりやすい事故があります。エンゼルでは、室内で起こりうる事故を防ぐために随時、点検・確認し安全な環境を整えています。家庭でも危険な場所・物などを確認し、事故を防ぐための参考にしてください。



【消防庁による室内で多く起きている事故の順位】

1位 ころぶ 2位 おちる 3位 たべる 4位 ひっかける 5位 ぶつかる
6位 やけど 7位 はさむ 8位 きる 9位 ささる 10位 おぼれる

【施設での主な対策】 ※6歳くらいまでは同じような事故が起こり得るため子ども目線の対策をします。

〈窒息・誤飲〉

0～1歳



- 食事：月齢、成長段階に合わせ、加熱した食材の離乳食を提供。ミルクなどの哺乳後は、げっぷを確認し、吐き戻しに注意する。
- 午睡：顔が柔らかい寝具に埋もれないようにする。掛布団は、払いのけられる軽い物にする。睡眠状態を5分毎にチェックし、記録する（SIDSを未然に防ぐ）。
- 玩具：直径4cm以下の物・角のある物・紙類は排除する。口に入れそうな物は床など手に届く場所に置かない。

1～3歳

- 幼児の玩具で小さい物は手の届かない所に置く。遊ぶ時は、衝立などを利用して仕切る。

〈転落・転倒〉

0～1歳

- 椅子：安全ベルトを装着し、座位が安定する姿勢にする。必要時、背中などにタオルを使用する。
- テーブル、棚：角の部分柔らかい物で保護する。
- 床に玩具などを出したままにしない。段差のある場所は一緒に行動する。
- おんぶ紐を使用する場合は、必ず、介助者と2人で対応する。

1～3歳

- テーブル、椅子は座位が安定する姿勢の物を準備する。必要時、足台を使用する。
- 高い所に届くような足台になる物は排除する。



〈その他〉

- ドア、窓、引き出し：ドアの蝶番に指を入れて挟まないように保護シートを張る。ドア・窓の鍵をかける。引きだしを衝立で目隠し、薬品・洗剤は、鍵をかけて保管する。

※子どもの探求心・好奇心を育てるためにも、制限や禁止をするのではなく、子どもの身の回りの環境を整え対策をすることで、のびのびした子育てをしていきましょう。